

16.道路に関する施策

■施策評価シート 16-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-①	施策名	広域主要幹線道路等の整備促進	

施策の概要
主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の解消を図るため、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた(都)平野南笠線をはじめとする事業の整備促進について要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	草津市域内の拠点間道路ネットワーク整備事業の整備延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,300	0	116	0
実績値	1,000	1,346			

成果指標実績に対するコメント
大津能登川長浜線の草津三丁目交差点改良で300m、(都)山手幹線の山寺ランプから上砥山ランプ間のうち草津市域分が500m、(都)平野南笠線のうち(都)山手幹線から滋賀アリーナ間が500m、大津草津線の矢橋中央交差点改良で46m整備され、目標値を達成することができた。過年度からの要望活動や事業協力が整備促進につながったものとする。

施策の達成度評価
「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に基づき、草津市域内の拠点間道路ネットワーク整備事業が実施され、主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の緩和に一定の効果がみられた。 引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業の早期実施に向け、要望活動を継続していく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 広域主要幹線道路等の整備促進に向けて要望活動を継続しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業が早期に実施されるよう県への働きかけを行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた(都)平野南笠線の着実な整備促進について要望活動を行うとともに、県と連携して各事業に取り組んでいく。
安全・安心な道路が整備されることは、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資するものであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業の早期実施に向け、要望活動や事業協力を継続していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国・県道路整備対策事業	土木管理課	○	各種道路関係の協議会等において国や県への要望活動を実施するとともに、関係機関との意見交換も積極的に行ってきた結果、(都)山手幹線等の主要幹線道路が整備されたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8				
		偏差値	65.4	68.3				
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4				
		偏差値	55.4	60.3				

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		77							

■施策評価シート

16-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-②	施策名	幹線道路の整備	

施策の概要

渋滞の緩和や交通アクセスを確保するため、幹線道路の整備を推進し、道路ネットワークの充実を図ります。

成果指標(単位)	大江霊仙寺線(南笠工区)その2および平野南笠線(新浜工区)の実施延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,110	1,110	1,110	1,110
実績値	530	1,110			

成果指標実績に対するコメント

大江霊仙寺線(南笠工区その2)の補償調査及び平野南笠線(新浜工区)の予備設計を進めることでの事業進捗を図った。
【1,110m = 大江霊仙寺線(南笠工区その2) 530m + 平野南笠線(新浜工区) 580m】

施策の達成度評価

大江霊仙寺線(南笠工区その2)および平野南笠線(新浜工区)について、計画通り事業を進めることができた。

当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、幹線道路の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

今後も引き続き、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図るべく、大江霊仙寺線及び平野南笠線の事業推進に向けた取組を着実に進める。

当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
平野南笠線整備事業	道路課	○	滋賀県と連携して、計画通り事業進捗を図れたため。
大江霊仙寺線整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8		3.8						
		偏差値	65.4		68.3						
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3		3.4						
		偏差値	55.4		60.3						
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											
客観指標No. (令和7年度)			40	77							備考

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-③	施策名	生活道路の整備	

施策の概要
地域の暮らしの利便性や安全性の向上を図るため、市内の地域間および地域内の生活道路の整備を推進します。

成果指標(単位)	市道の新設・改良整備延長(m)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		360	180	260	80
実績値	462	273			

成果指標実績に対するコメント
目標値に対して実績値は低くなっているが、効果促進を目的に前年度に工事を一部を前倒すことができたためであり、計画通り、市民に身近な生活道路の整備を行い、利便性や安全性を高めることができた。

施策の達成度評価
狭隘な通学路の路肩拡幅整備や、離合が困難なバス路線の拡幅整備、交通混雑が慢性的な路線の拡幅整備を行い、利便性や安全性の向上を図ることができた。
当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、市民に身近な生活道路の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、必要性や効果を勘案しながら、計画的に整備を進める。
当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路新設改良事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		40							

■施策評価シート

16-01-④

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-④	施策名	歩道・自転車道等の整備	

施策の概要

歩行者や自転車利用者が安全かつ快適に移動でき、児童が安全に通学できる環境を整えるため、歩行者や自転車の通行空間等の整備を推進します。

成果指標(単位)	歩道・自転車道等の整備延長(m)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		1,520	1,660	2,720	2,220
実績値	1,608	1,666			

成果指標実績に対するコメント

計画通り、通学路の安全対策のためのカラー舗装や路肩拡幅、自転車通行空間の整備を行い、安全性や利便性を高めることができた。

施策の達成度評価

地元、公安委員会、学校との通学路合同点検により、必要性などを勘案しながら、路肩カラー舗装等の安全対策を講じた。

当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、歩行者や自転車の通行空間等の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の実績についての考え方

今後も引き続き、地元からの要望や必要性を勘案しながら、路肩カラー舗装等の交通安全対策を進める。

当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩道整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
交通安全施設整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)			40							

■施策評価シート

16-01-⑤

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-⑤	施策名	道路施設の長寿命化と維持管理	

施策の概要 道路の適正な状態を維持するため、道路パトロールを行いながら日常の維持管理に努めるとともに、橋梁等の道路施設の計画的かつ効率的な点検・修繕を行います。
--

成果指標(単位)	舗装修繕計画に基づく舗装補修工事実施延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,590	2,000	1,050	1,050
実績値	730	2,621			

成果指標実績に対するコメント 舗装の補修が必要な区間の工事を計画通り完了させ、良好な道路環境を維持することができた。
--

施策の達成度評価 道路パトロールや道路の維持補修を日常的に行い、良好な道路環境を維持するとともに、舗装補修の他、橋梁等の道路施設についても計画的に点検および修繕工事を実施することができた。 当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、良好な道路環境を維持するとともに、道路施設の計画的な点検および修繕工事を推進していく。
--

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 今後も引き続き、道路パトロール等の日常的な維持管理を行うとともに、舗装や橋梁等の道路施設の点検結果を踏まえた修繕を計画的に実施することで、良好な道路環境を維持していく。 当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路維持補修事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
道路パトロール事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
官民境界確定事務	土木管理課
道路台帳整備事業	土木管理課
道路等管理事務	土木管理課
未登記路線測量登記事務	土木管理課
道路関係団体負担金事務	道路課
道路等管理事務	道路課
交通安全施設維持管理事業	道路課
草津駅前広場等維持管理事業	道路課
土木設計積算システム事務	道路課
南草津駅前広場等維持管理事業	道路課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート16-01-⑤

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8					
		偏差値	65.4	68.3					
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4					
		偏差値	55.4	60.3					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									
客観指標No. (令和7年度)									備考

■施策評価シート

16-01-⑥

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-⑥	施策名	バリアフリー化の促進	

施策の概要 安全で快適に移動できる環境を整えるため、JR草津駅と南草津駅を中心とする重点整備地区内の歩道等のバリアフリー化を促進します。
--

成果指標(単位)	重点整備地区内での歩道のバリアフリー化実施延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	270	240	270	270
実績値	480	146			

成果指標実績に対するコメント 歩道のバリアフリー化事業は交付金を充当して順次実施しており、当該年度の内示額に合わせて実施した結果、目標値に対する実績値が低くなった。しかしながら、実施した路線ではこれまで継続してきた工事を完了させ、効果発現をさせることができた。
--

施策の達成度評価 草津駅周辺の重点整備区域内の歩道のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図った。 当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、草津駅周辺の重点整備区域内の歩道の移動円滑化を図る。
--

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 今後も引き続き、草津市バリアフリー基本構想に基づき、進捗を図るため交付金をしっかりと要望しつつ、草津駅周辺の重点整備区域内の歩道等のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図る。 当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩行空間バリアフリー化事業	道路課	○	当該年度に実施した路線においては予定内容を完了させ、効果を発現させることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

16-01-⑥

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		40							